

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科		
科目名称 [英語名称]	ビオトープ論 [Biotope Theory]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	710026	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	中野 光謙			学位授与の方針 との関連	DP1(2) DP2(1)		
授業概要	<p>本授業の目的は、ビオトープ事業を効果的に推進するために必要な知識、技術、評価・応用に関する基礎的な能力を養うことです。</p> <p>本授業はビオトープ管理士の関連科目です。ビオトープの造成や管理に必要な知識と技術を、講義や野外実習等により習得します。野外実習では、宮崎県にあるビオトープを観察して、構造等について学びます。また、水辺ビオトープで生物の調査を行い、ビオトープの構造や管理と生物との関係について学びます。</p>						
関連する科目	水辺環境論、環境緑地論、環境調査及び再生論、環境緑地論実習、水辺環境論実習、自然緑地論、都市緑地論、環境関連法						
授業の進め方と方法	座学のほか、座学で学んだ内容を体験しさらに理解を深めるため、野外学習も取り入れています。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概論 ビオトープの定義、成立背景、種類、資格試験等について講義します。</li> <li>2. ビオトープの観察</li> <li>3. ビオトープの調査</li> <li>4. ビオトープの分析</li> <li>5. ビオトープの評価 学内外のビオトープで調査・観察を行い、ビオトープの設計と生物相との関係について学びます。</li> <li>6. ビオトープの評価とその事例</li> <li>7. ビオトープの保全方策(ビオトープの整備)</li> <li>8. ビオトープの保全方策(ビオトープの再生)</li> <li>9. ビオトープネットワークⅠ</li> <li>10. ビオトープネットワークⅡ 市内の様々なビオトープを観察し、ビオトープの設計や管理等について総合的に学びます。</li> <li>11. 生態学</li> <li>12. ビオトープ論</li> <li>13. 環境関連法</li> <li>14. ビオトープの計画</li> <li>15. ビオトープの設計 ビオトープ事業の推進に必要な知識について幅広く学びます。</li> </ol>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ビオトープに関する基礎的な知見と技術体系・現状・課題などを理解する。【知識・理解の獲得】</li> <li>2. ビオトープの設計、施工に係わる事項について、問題の所在を理解できる力を養う。【汎用的技能の育成】</li> </ol>						
授業時間外の学修	<p>ビオトープの事例をメディア媒体や実物となるべく多く見て、イメージできるようにしてください。予習として事前にテキストに目を通しておいてください。復習は授業中に口頭で指示します。</p>						
課題に対する フィードバック	レポートは評価後に返却し、解説を行います。		評価方法	受講態度(60%)、提出物(40%)の配点で評価します。			
テキスト	『改訂版ビオトープ管理士 資格試験 公式テキスト2級ビオトープ計画管理士・施工管理士対応』日本生態系協会 監修(日本能率協会マネジメントセンター)						
参考書	なし						
備考							